

いまいを叙述)、古典学説の圧倒的なメリットを評価して「散居説」を積極的に主張するのをやめた。古典学説は彼によっていわば原始共同体の一般理論として受けとられたのである。「諸形態」の20年後モルガンの「古代社会」以来、未開社会研究の豊富な成果が蓄積されたこんにち、一般理論としてはもとより、古ゲルマン史特殊理論としても古典学説(殊にその定住形態論)にあえて全面的に固執する必然性はなくなりつつある。かくして前数世紀の本源的共同社会から民族大移動後の集村化→封建化への「移行形態」としての、散居制に基づくゲルマン的共同体を構想し、新たな位置づけを行なうという試みに、理論的な可能性は全くないであろうか。

さて最後に、「諸形態」を以上のような「農業共同体」分析とみるなら、われわれの「諸形態」へのアプローチはいわば資本主義成立史論(継起的共同体克服の論理)の視角にてはなく、やはり「所有」の本質・発展の理論の視角に立たざるをえない。「諸形態」がそれへの準備的草稿であった「資本論」1巻24章との統一的理解のもとに、私は「諸形態」が解明(しようと)した諸論点を次のようにまとめたい。

まず、神聖不可侵と宣言されたブルジョアの私有は原始的共有からの発展形態であること、共有から私有への移行形態として共同体とさまざまな相互規定に立つ・「労働主体が自分のものとしての生産手段に関係する」私有が成立したこと、ここでは社会的分業の展開は排除されたが労働者の自由な個性の伸長が保障されたこと、保有(非所有)に対立する所有すなわち「奴隷制および農奴制」、さらにかかる「隷従の形態転換」(資本論, I, 754)としての資本制的私有は「労働主体の私有」の第一の否定であること。「諸形態」は本源的所有の解体と資本形成の歴史過程の分析を通じて、労働者はいかなる状況にあったとき本来的に自由であったかを、したがって私有の・人間疎外の・極北たる資本制領有様式から解放される人間の「より高次の」回帰点はどこであるかを探究したものであった、と私は考える。

[資 料 ノ ー ト]

社研受入図書資料一覧(No. 5)

- ①大蔵省主計局調査課「財政統計」(昭和37年度)
- ②大蔵省理財局「国債統計年報」(昭和37年度)
- ③OEEC編・経済企画庁訳: Statistics of Sources and Uses of Finance 1948~58 (訳名『欧米諸国の資金循環』)
- ④総理府統計局「10年の小売価格 小売物価統計調査総合報告」(1950~1960年)
- ⑤通産省企業局「外資導入年鑑」(1963年版)

- ⑥ 同 上 「わが国企業の経営分析」(昭和37年上期)
- ⑦ 同 上 「主要企業の設備投資計画— その現状と課題 」(昭和38年度)
- ⑧大蔵省理財局「法人企業統計年報」(昭和37年度)

[寄 贈]

- ①総理府統計局 「昭和35年 事業所統計調査報告」全国編 I, II, サービス編, 解説編(計4冊)
- ②農林省農林経済局統計調査部「第39次農林省統計表」(昭和37年)
- ③ 同 上 「昭和37年度 農林物価賃金調査報告書」
- ④ 同 上 「昭和37年産重要農産物生産費調査報告」
- ⑤経済企画庁「日本経済指標」(1963.11 ~ 1964.1)
- ⑥「昭和39年度一般会計予算」(第46国会提出資料)
- ⑦「昭和39年度特別会計予算」「政府関係機関予算」(同上)

[資 料 班]

[編 集 後 記]

1. 少しおくれたが、63年度最後の月報をお届けする。昨年9月に社研が再発足してから、まさに半歳、所員は与えられた条件の中で最大限の努力をしたと思う。64年度のあり方について、積極的など発言を5月に予定している所員総会にお願いしておきたい。
2. 前号が出てから、本誌以外で所員の発表した業績はつぎのとおりである。
 長 幸男：「銀行史の方法に関する一考察」(渡辺佐平教授還歴記念文集『金融論研究』所収，法政大学出版局，39年2月刊)
 吉沢芳樹(羽鳥卓也氏との共訳)：リカードウ『経済学および課税の原理』(河出書房新社，世界大思想全集—社会・宗教・科学思想篇，第8巻，39年3月刊)
 福島新吾：「福祉国家」と「兵営国家」(岩波講座『現代』第8巻所収，岩波書店39年3月刊)
 なお、毎号お願いしている論文・著書の寄贈について、社研の蔵書を充実させる意味からも、出来れば過去に遡ってのご寄贈を改めてお願いする。
3. 前号掲載の玉垣論文について、筆者の申出でにより以下の通り訂正させていたとく。前5号

8頁 1行目

誤「……社会の無政府性によって……」

正「……社会の無政府性が……」

(事務局 加藤記)

東京都千代田区神田神保町3の8
 専修大学社会科学研究所
 (発行者) 山田盛太郎

電話 (262) 3671 ~ 5